

小泊の海に世界各国からアスリートが集う 「津軽海峡遠泳」



津軽海流は対馬海流から太平洋側へ抜ける暖流のこと。
スイマーを東側へ押し流してしまう。
そのため序盤は、北西方向(左斜め上)に膨らんで泳ぎだし、流
されることを計算にいれて泳ぐ必要がある。



ポール・リオナードさん(54) 出身イギリス
今回の遠泳成功で7大海峡を全制覇(タイム: 11時間18分)

今年の挑戦の先陣をきったのは、ポール・リオナードさんとグリュイネ・モスさん、カレン・エニスさんの3名です。
6月19日の早朝、小泊漁港からそれぞれ遊漁船に乗り込み、小泊の権現崎まで到着すると午前4時7分、自らの力だけで北海道の白神岬周辺まで遠泳を開始しました。

津軽海峡遠泳の豆知識①～小泊は成功しやすい出発点～

津軽海峡は潮の流れが速く、海流が入り組んでいるので、泳ぐルートを間違えると、潮に流されて失敗してしまう可能性が高くなります。

遠泳の成功条件は、青森県ー北海道間を一度も船に戻らず泳ぎ切ることです。青森県側からでも北海道側からでも、泳ぎ切れれば成功となりますが、権現崎から白神岬までのルートは、津軽海流に乗って流れつきやすく、距離も短いので挑戦に適したルートです。

序盤を順調に泳ぎ進め、うまく海流に乗って北海道へ接近したスイマーたち、終盤の潮の流れに苦戦しながらも、無事に北海道福島町沿岸にたどり着きました。

今回挑戦したスイマーは3名とも津軽海峡遠泳の成功によって、みごと7大海峡制覇を果たしました。

津軽海峡遠泳の豆知識②～挑戦には制限時間が!?～

津軽海峡遠泳の挑戦時間は、日の出から日没までです。
陽が沈んでしまうと、どれだけ体力が残っていても挑戦中止となってしまうので、スイマーは時間に間に合うよう日の出直後からスタートします。



津軽海峡遠泳連盟

青 森県が誇る津軽海峡は、ドーバー海峡、カタリナ海峡、クック海峡、ジブラルタル海峡、モロカイ海峡、ノース海峡とともに世界7大海峡(オーシャンズ・セブン)と呼ばれ、この7つの海を制覇しようと「遠泳」に挑戦するスイマーが津軽海峡を訪れ、注目を集めています。

遠泳は海や湖などの自然の中で、天候などに左右されながら完泳を目指す競技で、ときにはフランス・イギリス間など国をまたいだ遠泳もあり、津軽海峡遠泳も、これら長距離遠泳のひとつに数えられます。

町では、遠泳に挑戦したいスイマーのサポートを昨年度から本格的にスタートさせ、今年度は14名の海外スイマーが、およそ30kmの完泳を目指します。



グリュイネ・モスさん(56) 出身アイルランド
今回の遠泳成功で7大海峡を全制覇 (タイム: 12時間29分)

津軽海峡遠泳の豆知識③～スイマー増加で地域活性化～

津軽海峡を泳ぐためには、伴走する船を手配したり、泳ぐ日程を事前に海上保安部に届け出たりと、各種手続きが必要になります。

海外からのスイマーがこれらの作業を行うのは非常に難しく、これまでは挑戦したくてもできないスイマーが大勢いました。

そこで、町の津軽海峡遠泳連盟が伴走船の手配や届け出などを代行することで、挑戦するスイマーが増え、伴走する遊漁船の事業者や飲食店、宿泊施設などが、スイマー滞在中に外貨を獲得し、小泊地域の活性化につながると考えています。



3名全員の7大海峡制覇を祝して「7」のハンドサインで記念撮影。
写真右側: カレン・エニスさん(54) 出身イギリス
今回の遠泳成功で7大海峡を全制覇(タイム: 13時間15分)

令和8年度遠泳実施期間(6/19時点)

- 1回目: 6月19日(金) **終了いたしました。**
- 2回目: 6月26日(金) ～ 30日(火) のいずれか1日
- 3回目: 7月3日(金) ～ 7日(火) のいずれか1日
- 4回目: 7月17日(金) ～ 21日(火) のいずれか1日
- 5回目: 8月30日(日) ～ 9月3日(木) のいずれか1日

お問合せ先

津軽海峡遠泳連盟 ☎0173-57-2111
<https://nakadomari-ctea.jp/archives/1501>